



**平成30年度表彰と総会
終了。総会案件承認される**



4月1日(日)
午後5時から苫小牧文化交流センター(アイビープラザ)において苫小牧山岳会総会が行われた。

それに先立ち表彰が行われ、永年会員賞は60年が藤田さん、50年が伊藤さん。功労賞(50周年以降、60周年受賞者は除く)は、14年で藤田さん、高山さん、泉田さん、林昇さん、12年が田中勝さん、10年が鈴木統さん、小野さん、宮崎さん。10名が受賞した。その後の総会にあたり林会長から「今年度から総会時に永年会員と功労の表彰を行うことになりました。ここに表彰された方におかれましては永年



に渡り会発展に貢献されました。改めて感謝とお礼を申し上げます。29年度事業を振り返ると台風等の影響もあつたが計画された事業はすべて行っています。月例山行や各種ボランティアも含め延べ200名の参加がありました。今年度事業では、会員の高齢化と参加の底上げを考慮して低山山行を

4事業組み入れ、山行から遠ざかっている会員も参加しやすい内容となっています。H28年から日高町と協議してきましたチロロ小屋に関しましては、会報等でもお知らせしておりましたが、当会員の平均年齢69歳という事情と小屋築59年とを踏まえ、昨日3月31日付で日高町に返還し、これをもってチロロ小屋の閉鎖と言うことになりました。昨年もいろいろありました。これから式次第に沿って事業報告や新年度に向けた予算等の審議をよろしくお願いたします」との挨拶が有り、議長(中川輝之)が選出され、次第に沿って審議が行われた。その中で前年も整備費が使われていない点、また、積立金(予備費)をいつまで、幾らまで行うのか。役員改正では、「会長以下の役員には異存は無いが、前回



の総会でもお話しした名譽会長の任期について、これに永年会員にすべきではないか」という意見が出され

た。整備費については今後検討。名譽会長の任期について総会での意見として来年の総会まで理事会で話し合いを行い、報告することになった。特別会計の積立と運用についても今後の検討課題としてなった。各報告、決算、監査、事業計画・予算案及び役員改選それぞれが審議され承認された。また、先に行われたアイビープラザ「ひなまつり展」に使用した写真が会場後に展示され、総会終了後希望者にプレゼントされた。そのほか、チロロ小屋備品売却で、提示された品物すべてが低料金で売却され、会の収入とされた。その後の懇親会は、会場を変更して「えびす鮮魚店」で行われた。



《さよならチロロ小屋》最後の片付けと搬出

日高町に3月末引き渡しに伴う行程に沿って、3月2日小屋と物置内の不要品などのまとめを行い、3月13日に不要な荷物の搬出を行い、日高町の立ち会いの下、長きに亘ってお世話になったチロロ小屋を日高町に引き渡した。



《事業報告》3/11 多峰古峰山

29年度最後の山行が悪天のため日程を3月11日(日)に変更して支笏湖支寒内にある多峰古峰山(660.9m)で会員3名が参加して行われた。薄雲が広がるお天気だったが、雪がよく締まり、スノーシューのエッジもよく効いてショート・ショート



ートの休憩とおしやべりをしながらも予定より早く頂上に到着した。頂上から樽前山ドームや支笏湖周辺の山々を眺めることが出来た。隣の646mは省略。下山ルートは別ルートに変更し、下山下部に



ある大木(センノキ・カツラ・ミズナラ)の森を眺めながら年度最後の山行を楽しんだ。詳細は8日の例会で報告。

《例会予定》開始時間18:30

- ◆4月8日(日) 4/15 白樺山(スキー&スノーシュー)ツアアの打ち合わせ
- 4/28~30 春山合宿打ち合わせ
- ◆5月6日(日) 5/27(日) 喜茂別岳打ち合わせ

《事業予定》

- ◆4月15日(日) 白樺山(スキー&スノーシュー) 担当:新井素、新井孝
- ◆4月28日~30日 春山合宿 奥徳富岳、群別岳 担当:新井孝、泉田
- ◆5月27日 喜茂別岳(山野草) 担当:大岡、新井素

《道岳連便り》

H30年度日高登山研修所開きの案内
期日 4月14日(土)~15日(日)
会費:4000円

15日の研修には、指導員以外の一般会員も参加できます。指導員は、登録更新の義務研修も兼ねています。研修は4ブロックに分かれています。4/7~切 参加者は事務局か理事長まで。

《連絡事項》

山行車両借上 燃料単価135円で推移